



本 日 第2164回 2015年8月28日(金) No. 2049

本日のプログラム Today's Program

点 鐘

ロータリーソング 「それこそ ロータリー」

卓話担当者: 箕輪 良孝君

卓話者: 社会福祉法人 蒲生会大和荘

**荘長 長谷川 正 様
演題: 「児童養護の歴史と大和荘の状況」**

前 回 第2163回 2015年8月21日(金) 記 録

○斉 唱: 「日も風も星も」

○ゲスト: 尾張旭市子ども会連絡協議会

会長 山本真依子様

スポーツ担当 中道 由美様

出席者: 会員21名中18名出席 出席率85.71%

前々回補正出席率 7月25日分95.23%

会長あいさつ 古橋エツ子



安全保障関連11法案の可決をめぐって、大々的な集会やデモ行進が行われています。法律や政治系の学会など、研究者グループの署名活動やアピールも多い

です。そこで、若い頃の60年安保・70年安保反対のデモを思い出しています。当時は、指導教官から女性がデモに参加することは「顔にケガでもしたら大変だから」と反対される時代でした。

とても不思議というか、面白いと感じたのは、デモの歩き方でした。普通の歩き方ですと、前後の人たちの足と引っかかるため、上にあげたり下げたりしながら少しずつ歩みを進める方法です。これがデモ歩き！でした。今は、この歩き方が、大勢の人の中で歩くときに大変役立っ

ています。

幹事報告

・8/7 第5回理事役員会 於商工会館 古橋エツ子会長以下9名出席

・8/7 地区ロータリー財団セミナー 於名古屋東急ホテル 森井幹事出席。

・8/10 12RC会長幹事会 於名鉄犬山ホテル 古橋エツ子会長、森井幹事出席

・本日の会合: なし

・次回の会合: なし

・例会変更のお知らせ: 掲示板をご覧ください。

ニコボックス

○家内の誕生日を祝っていただき。

江尻 豪君、森井 晴生君

○尾張旭市子ども会連絡協議会 会長 山本真依子様、スポーツ担当 中道由美様、ようこそお出でくださいました。 古橋エツ子君

飯田 幸雄君、桜井 雅博君

古橋 裕志君、箕輪 良孝君、山田 直樹君

○子ども会スポーツ大会のご盛会を祈念いたします。 井田 武憲君

○本日卓話を担当いたします。よろしく願いたします。 山田 直樹君

----- 会員増強月間・新クラブ結成推進月間 -----

	9月 4日(金)	9月11日(金)	9月18日(金)	9月26日(土)
例会予定	卓話担当者: プログラム委員会 卓話者: 尾張旭市教育委員会 管理指導員主事 姫岩 弘治様 演題: 「尾張旭市の教育の現状」	卓話担当者: 舟橋 龍秀君 卓話者: 〃 演題: 「仏像めぐりの楽しみ」	卓話担当者: 古橋エツ子君 卓話者: 花園大学 準教授 片山 由美様 演題: 「家庭内のヒヤリ・ハットから事故防止を考える」	25日(金) 振替日 月見例会 於良福寺 18:00点鐘

○山田直樹君も卓話を楽しみにしております。

浅野 善吉君

○4日間、山形の友人の所へ遊びに行ってきました。昼はゴルフ、夜は飲みっぱなしでした。昨日から、また仕事、頑張りましょう。

金森 俊輔君

○江尻君、過日はありがとうございました。大満足です。

箕輪 良孝君

○お忙しの君 江尻 豪君、高島 昇君

尾張旭市子ども会連絡協議会



メダルの贈呈
古橋エツ子会長（左）と
子ども会山本会長

子ども会 山本会長と
スポーツ担当
中道様（右）



卓 話

「これからのロータリー」



山田 直樹

8月7日の例会卓話で古橋パスト会長が会員増強委員長の立場で、今後どうしたいのかとい

うテーマで卓話を担当されました。今回は私の方から会長エレクトの立場からも含めて、これからの尾張旭ロータリークラブのあり方、5年先の尾張旭ロータリークラブのあり方等をお話させていただき、皆さんに私たちが抱えている問題の大きさ深さを再度理解いただければと思います。それぞれのメンバーが1票を投じる覚悟で考えていただければと思います。

私見ですが、当クラブが抱えている問題の中で優先的に解消していかなければならないテーマを順番に述べたいと思います。まず1番危惧しているのは、長年培ってきた歴史に裏付けされてきたクラブの品位格調の高さが失われつつあることです。メンバーの高齢化、間違った既

存概念からくる間違った例会運営、経験あるメンバーが新しいメンバーに解りやすく指導していくことがいいと思いますがなかなか余裕がありません。外から私たちのクラブを見ていただく時（特に新入会員候補者に見ていただく時）心に訴えるものがみえてこないのではないかと心配しています。尾張旭ロータリークラブの一員であることの誇りを感じ続けることができるのは、品位格調の高さが維持継続されているところからくるのではないかと考えています。メンバー全員の努力で改善されていくと思います。2番目に問題提起したいのは、仕事が一番優先はもちろん認めますし当然のことと思いますが、ロータリーを自分自身で学ぶ意欲意識付けをもう少し強く持つことが全員に必要なということです。そうすることが充実していくと、クラブ内の問題はかなりの部分で解消していけると思います。今の状態はメンバーのロータリーにおける価値観、考え方が多様すぎて摩擦が生じやすい状況にあると思われます。

3番目に当クラブの独自性の構築です。会員減少からくるメンバーの労力的不公平さ、予算の厳しさ費用のカット等何年も前から苦しめられてきたのですが、2760地区の中での付き合い、東尾張分区の中での付き合い、市内での各団体との付き合いを含めて線引きを見定めて確固たる独自の路線を作りていく必要を感じています。このことの実現が長期的視野で見るとこれからの歴代会長がぶれることなく独自の構想をつくりやすくしていくのではないかと思います。

まだまだ沢山の問題があります。今当クラブは今後生き残っていくかどうかの分岐点にあるのだと思います。皆さんから知恵をだしていただいて、それをまとめ運営に取り入れていくのが私の役目だと思っていますので継続的な取り組みをお願いして卓話を終わります。

福祉マインドフェア尾張旭2015

日時 2105年8月1日（土）10:00～

場所 渋川福祉センター



協賛金の贈呈
加藤副会長から社協若杉会長に贈呈
いたしました。

△若杉会長（左）加藤清久副会長

社会福祉法人 尾張旭市社会福祉協議会から礼状が届きました。バザーの収益は134,595円あったそうです。当クラブから、加藤副会長、森井幹事、菊田社会奉仕委員長が出席しました。